

地域医療連携だより

Vol.208
R2.9

長浜赤十字病院 地域医療連携課
〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町14-7
TEL 0749-68-3314
FAX 0749-68-3315



地域医療支援病院・救命救急センター
地域周産期母子医療センター
地域災害医療センター
滋賀県地域がん診療連携支援病院
基幹原子力災害拠点病院



初秋の候、貴院におかれましてはますますご清栄のことと存じます。
平素より当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。



新型コロナウイルス感染症の渦中において

平素より当院の診療にご支援ご協力を頂き誠に有難うございます。

当院は第2種感染症指定病院として、これまでも新型インフルエンザ等の新興感染症に対応してきました。今回の新型コロナウイルス感染症に対しても、8月末時点で200人以上の帰国者接触者外来での診察、計80名余りの患者（疑似症含む）の入院治療を行っています。新型コロナの全容が未解明な部分もあり、災害医療に準じて院長を対策本部長とした診療指揮体制を整えています。

当初は陰圧個室4床を含めた計8床で対応していましたが、県南部でのクラスターによる患者数の急増もあり、県の病床確保計画に応じて最大44床まで対応（湖北医療圏では市立長浜、湖北2病院を含め合計75床）できるようにしています。呼吸器専門医が不在の中、軽症患者には内科系、外科系問わず全医師の輪番制での受け持ちをお願いし、重症患者は集中治療医を中心とした重症チームの輪番当直体制で対応しています。当初は重症患者の治療にあたり、医師や病棟看護師の肉体的・精神的負担や個人防護具の不足などの課題がありましたが、スタッフの献身的な協力、さらに地域の先生方のご支援のおかげで、大きな混乱なく安定した診療ができました。

当院は、3次救急、周産期医療、精神科診療などの特定機能を有し、それぞれの感染対策についても基幹的な役割を期待されています。救命救急センターでは市中感染のリスクを前提に、ゾーニングや適切な個人防護具による感染対応を行っており、院内PCR検査も整備しました。妊婦の分娩や緊急帝王切開時の感染対策や、精神科でのクラスター対策も重要な問題です。今後、秋冬に向けて患者数の再増加が予想されますが、引き続き病院一丸となって対応していきますので、地域の先生方には安心して患者様をご紹介頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。



感染管理室長
原田 吉将

各診療科からのお知らせ

耳鼻いんこう科	一部制限	別紙ご参照ください。
歯科口腔外科	一部制限	緊急処置のみの対応になります。 緊急性がない、臨床症状のない症例は、処置を延期する可能性があります。 注意喚起の文章を読み承諾をいただいてからの受診になります。
内視鏡センター	通常通り	検査の5日前より健康チェックをお願いしています。
産婦人科	通常通り	受診の2週間前より同居のご家族を含め、健康チェックをお願いしています。

関係機関のみなさまへお願い

入院時情報提供書及び、当院との連携に関わる関係書類をご持参頂く際には、医療社会事業部（2号館1階）まで、お越しくださいますようお願いいたします。来院を控えられたい場合、名前を黒塗りせずにFAXを送っていただくか、名前を黒塗りしてFAXを送られる際には【入退院支援室宛】に原本を郵送していただくようお願いいたします。



地域と連携する新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の流行は、医療現場のみならず社会活動を一変させました。流行が始まり半年以上が経過しましたが先が見えない状況です。感染症法の指定感染症に位置づけられていることから、検査で陽性と判明した場合は入院することになります。軽症や無症状の場合においても入院となるため、入院する病床が不足し医療が逼迫してしまいます。今のところ湖北地域においては感染者数も少なく、医療現場が逼迫するような状況ではありませんが、滋賀県南部においては複数のクラスターが発生し病床が確保できない状況を経験しています。湖北地域においてもいつクラスターが発生するかわからず、病床が確保できなくなることを想定し準備しておく必要があります。



感染管理室
院内感染管理者
中村 忠之



湖北地域・感染症対策ネットワークでは、湖北地域の感染症対策として研修会の開催、施設等で感染症が発生した場合の現地指導などを実施してきました。しかし、今年度は例年実施している研修会は行わず、新型コロナウイルス感染症の研修会、現地相談を開催することとしました。

今回、湖北地域・感染症対策ネットワークが主催となり高齢・障害サービス事業所の職員を対象として8月25日に長浜赤十字病院において研修会を開催しました。湖北地域に設置されている約400箇所の高齢・障害サービス事業所より150名の方に参加いただきました。参加者は、各事業所のリーダー的な立場のある方を対象とさせていただき事業所での感染対策を進める役割をお願いしました。研修会は、新型コロナウイルス感染症の基礎知識と現在わかっている知見などを説明し、自分自身が濃厚接触者にならないことが大切であることを伝えました。研修会後半は、個人防護具が不足した場合の対応方法として、ビニール袋を利用したガウン、クリアホルダーなどを利用したフェイスシールドの作り方についての演習を行いました。事業所においてクラスターが発生すると、事業所はもとより湖北地域の医療に多大な影響がでるため、それぞれが感染しない、感染を拡大させないために万全の感染対策を行うことが重要であることを強調して研修会を終えました。

さらに、現地相談・指導として入所施設に伺い、感染対策の基本的事項を伝えるとともに、施設において患者が発生した場合の対応としてゾーニングの指導を行いました。施設によって構造やスタッフの人数も違い、教科書通りの対策はできないため施設の方と一緒に考えながら対策を決めていきました。

当院は第2種感染症指定医療機関として、陽性患者の受け入れや感染症外来の設置など大きな役割を担っていますが、病院内の対応だけでなく地域を含めた感染対策を進めるリーダーとしての役割もあります。いつまで続くかわからない状況ですが、湖北地域を新型コロナウイルス感染症から守れるように取り組んで参りたいと考えています。

<湖北地域・感染症対策ネットワーク>

平成22年度より湖北地域の病院（長浜赤十字病院、市立長浜病院、長浜市立湖北病院、セフィロト病院）の感染対策担当看護師と長浜保健所の感染症担当者を中心に、湖北地域における感染症対策の普及啓発を目的として、研修会や現地指導などの活動を行っています。



新任医師のお知らせ

いとう さやか
脳神経外科 伊藤 清佳

よろしく申し上げます